

【 D 数量関係 教材の系統表 】低学年

学年		1 年	
学期		1 学期	3 学期
単元		はなはなんこさいかな	ずをつかってかんがえよう
ねらい		ものの個数を絵や図などを用いて表したり、読み取ったりすることができるようにする。	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いることができるようにする。
学ばせたいこと	中心となる考え	○目的に応じた集合をつくって数を調べる。 ○ばらばらに示されたものを整理して並べると、大きさが比べやすくなる。	○場面を図に表して問題の構造をとらえる。 ○図を基にして、式を読む。
	用語		
関連教材		2年 「ひょうとグラフ」 3年 「ぼうグラフと表」	1年 「のこりはいくつちがいはいくつ」 2年 「たし算とひき算」
意識させるキーワード		○まっすぐ並べる ○スタートは同じ ○同じ大きさ	○おはじきで ○丸図で ○図に描いて
筋道を立てて説明する		条件や観点を決めてものの個数を数え、それを整理した絵を使って条件に応じた集合の要素の数や表現の特徴について説明する。	順序数や異種の数量を含む加減計算、求大求小の場面での加減計算について、半具体物や図を使って説明する。
まるごと活用		生活科の学習で育てた野菜の数を調べて記録し、整理する。	
その他			